



令和7年度 第1回 のべおかはげまし隊員等研修会

4月28日に、令和7年度第1回ののべおかはげまし隊員等研修会を開催しました。各校の隊員、担当教員、地域学校協働活動推進員、教育委員会など、関係者が一堂に会しての今年度キックオフとなりました。

全体会



渡井理事長 挨拶



高森教育長 挨拶



事務局より報告・説明

分科会

全体会の後、学校毎に分かれて地域学校協働活動推進員、担当教員、隊員さん方とで今年度の活動について打合せを行いました。

実際の支援開始日については学校の事情や判断によって各学校で決めていただくこととし、大方の学校で5月中に打ち合わせや対面式も含めて活動が始まっています。



土々呂中学校



東海中学校



恒富中学校

一ヶ岡小学校 対面式



今年度から、一ヶ岡小学校にも、はげまし隊が導入されました。土々呂中学校で活動している隊員さんの中で希望される方が8名でシフトを組んで入ってくださいます。

5月9日には、対象となる5、6年生の子ども達との対面式が行われ、初の顔合わせとなりました。子ども達は少し緊張気味でしたが、隊員さん達は小学校での活動をとても楽しみにされているようでした。

はげまし隊 新規隊員さん募集

のべおかはげまし隊事務局では、常時、新規隊員さんを募集しています。少しでも興味がおありでしたら、遠慮無く事務局にお問い合わせください。最寄りの学校の授業見学へご案内し、活動内容を詳しくご説明いたします。

問い合わせ(火曜を除く平日)

TEL 0982-29-3786 (福が来るよ 皆やろう)

はげましTIMES

そっとよりそいはげまそう 希望に輝く 子どものために
(事務局便り 第73号)

令和7年6月16日発行

NPO法人学校支援
のべおかはげまし隊事務局
TEL:0982-29-3786



ご挨拶



NPO法人学校支援のべおかはげまし隊

理事長 渡井 俊行

教育委員会、学校関係者、コーディネーター並びに賛助会企業、個人の皆様、日頃よりご理解ご支援賜りまして厚くお礼申し上げます。

そして、隊員の皆様におかれましては精力的に授業支援活動を続けてくださいますようお願い申し上げます。

昨年は概ね支障なく活動を行うことができましたし、情報意見交換会も開催し、学校関係者・コーディネーターの皆様と隊員相互の親睦を深めることができました。また、念願でありました「はげまし隊ホームページ」も事務局に頑張っていただき、立ち上げることができましたし、「はげまし隊ガイドブック」も内容の充実を図っていただきました。ありがとうございます。

小中一貫校を含めまして、中学校12校、小学校は今年度より7校となり、合わせて19校の授業支援を行っております。支援科目も数学・算数の授業の他に英語、家庭科の調理実習やプール監視、また美術や習字といった支援科目も増えまして、子ども達が成長し、社会で立派に自立していけるように学校側の要請内容も充実・拡大してきております。また、その要請に応える隊員の皆さんに加入していただきました。大変ありがたいことであると感謝申し上げます。現在、165名であります。

一方、隊員の平均年齢が71歳と年々高齢化しておりますので、若い隊員の皆さんを勧誘することが継続するための最大の課題であり、毎年の悩みでもあります。企業OB総会を通じて入会の案内や隊員自身の知人・友人への直接勧誘をお願いするなど継続的に進めているところです。

また、学校関係者の皆さんから、学校でボランティア活動をされている方にはげまし隊の活動を知っていただき、且つ授業を見学していただけるように働きかけをお願いし、さらに、学校側の許可を頂き、児童・生徒のおじーちゃん、おばーちゃんに「はげまし隊」に加入をお願いしていただくことも試みたいと思っております。

現在、活動としてはタイトな状況にありますが、隊員の皆さんの一人ひとりが高いところざし、やりがいを持って積極的に活動していただけていることが原動力となっています。本当にありがとうございます。今後も体調に気を付けて活動を続けていってほしいと思います。

また毎年、活動の反省点を明らかにして改善を図るなど、活動そのものを充実化する努力を積み重ねておりますが、それと合わせて校長先生方をはじめ担当の先生方、コーディネーターの皆様とのコミュニケーションを更に深めて、授業支援内容の充実を図り、一層の生徒、児童の教育向上にお役立ちできるように努力してまいりたいと思っております。

関係者の皆様、隊員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

子ども達が前に進む原動力

延岡市教育委員会 社会教育課長 吉田 尚良

はげまし隊員の皆様には、中学校のほかに、一部の小学校においても、授業支援をはじめとした活動に熱心に取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。

子ども達にとって、日々の授業や学校生活は、未来へ向かうための大切な一步一步です。その中で、皆様のような経験豊かな大人の方々が、子ども達の学びを支え、ともに時間を過ごしてくださることは、何にも代えがたい貴重な機会となっています。

はげまし隊では、毎年、子ども達や隊員、先生方がそれぞれの思いを伝える「はげまし隊川柳」を実施されております。五七五の十七音で綴られた川柳に目を通すと、「はげまし隊による丸つけをドキドキして待つ緊張感」や「隊員のサポートで分からなかったことが分かるようになった時の喜びや興奮」「はげましや応援をしてもらったことによる、やる気の芽生えや幸福感」など、子ども達の正直な気持ちがよく伝わってきます。

中には、「いつか自分にもはげまし隊の活動ができるだろうか」といった川柳もあり、皆さんの温かく、そして真剣に子ども達と向き合ってください姿勢に触れることで、「こんな大人になりたい」「将来はこんなふうに関わっていきたい」という将来への希望も芽生えてきます。

何より、皆様が子ども達のために時間を割き、真剣に関わってくださっているという事実が、子ども達の心を温かくし、自信とやる気を与えてくれています。「私たちは大切にされている」「信じてもらえている」という思いが、前に進む原動力となります。

どうぞ今後とも、はげまし隊の皆さんの、生徒たちへの思いやりと愛情のつまった支援をよろしく願いいたします。



はげまし隊の活動と本市における目指す子ども像 ～自他の幸せのために学び行動する子どもの育成～

延岡市教育委員会 学校教育課長 岩切 隆人

延岡市の目指す子ども像は、「幸動」：自他の幸せのために学び行動する子どもの育成と知ったときに、私は、「一人一人が周りのために出会ってよかったという存在」になること、そのような存在を目指すことが大切なのではないかと考えました。この考え方は、人とのつながりを大切にした生き方を目指すことになり、どの年代の方も、社会情勢が変わっても不変的なものだと考えます。

人とのつながりを大切にした「はげまし隊」の活動は、今年で17年目を迎え、令和7年度は市内17の学校で支援を行っていきます。これまでの実績を振り返りますと、「はげまし隊」を導入している学校においては、「はげまし隊」はなくてはならない存在となり、児童生徒の学習指導と生徒指導の両面を大きく支えています。

令和6年度に実施した「はげまし隊」に関するアンケート結果では、以下のような結果が出ています。（肯定的な回答の割合を表示）

【児童生徒の反応】

- はげまし隊がいると集中して学習ができる。(83%)
- わからないとき、はげまし隊の方に声かけしてもらえるので、やる気が出たり、自信がついたりする(84%)

【先生方の反応】

- きめ細かな授業に大変役立っている。(100%)
- 子ども達が達成感を味わい、自ら頑張ろうとする雰囲気づくりに役立っている。(100%)
- 生徒指導面でプラスの効果を発揮している。(96%)

【隊員の反応】

- 活動はやりがいがあり、楽しい。(99%)
- 学校や児童生徒のことがよく分かるようになり、教育への関心が以前より高まった。(95%)

この結果のように、「はげまし隊」の長年の取組により、学校・児童生徒・隊員の3者にとってWIN-WINの関係が構築でき、「出会えてよかったという存在」につながっていると考えております。だからこそ、末永く継続的に取り組んでほしいものです。

最後になりますが、はげまし隊の皆様方のますますのご健勝をお祈り申し上げますとともに、地域・学校が児童生徒を支え合いながら、児童生徒の成長へさらなるご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

延岡の「シニアパワー」全開!!

NPO法人学校支援のべおかはげまし隊 事務局長 石川 喜美子

38年間の教員生活の内、32年間で延岡市で過ごし、退職後延岡で過ごすこと7年目に入りますが、常日頃思うことは、延岡の高齢者の方々の地域を思う気持ちの熱さです。特に、社会教育課で「はげまし隊」の仕事に携わってから、その感を強くしました。

昨年、第2回「はげまし隊員等研修会」で、延岡市キャリア教育支援センターの水永正憲センター長に「人生100年時代を生きる～はげまし隊員のみなさんに期待すること～」と題して講演をしていただきました。当日は、雨風の強い日でしたが、多くの隊員の方々が来てくださいました。

講演の中で印象に残った言葉は、「残りの人生で今日が一番若い」です。当たり前の言葉ではありますが、「若い」と言われると何でもできそうな気になります。「70代は黄金期」とも話されました。「人生は後半戦が勝負」なのだそうです。地域の子供達を育てることに関わることで、自らも健康になることを水永さん自身が証明されているので、説得力があります。聴いていてワクワクさせられました。

事務局長の仕事も3年目に入り、少しずつですが、隊員の方々と色々な話をすることができるようになりました。今年の数学支援の隊員の方々の平均年齢は72.3歳で、全体では70.9歳、70歳以上の方々が77.6%の割合です。隊員の方々に励まされているのは子ども達や学校だけではありません。社会教育課の職員もそのパワーをひしと感じ、日々励まされています。